

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【公開番号】特開2010-234095(P2010-234095A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2010-167251(P2010-167251)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月20日(2011.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 図柄表示部に可変表示される第 1 図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、少なくとも前記第 1 図柄表示部と第 2 図柄を表示する第 2 図柄表示部とを有する可変表示装置と、前記可変表示装置の表示状態を制御する可変表示制御手段とを備え、

前記可変表示制御手段は、前記第 1 図柄表示部に第 1 図柄を可変表示する制御を行う第 1 図柄表示制御手段と、前記第 1 図柄表示部に表示可能な表示内容よりも多い種類の表示内容を前記第 2 図柄表示部に表示可能な第 2 図柄表示制御手段と、前記第 2 図柄表示部に停止表示させる第 2 図柄を決定する停止図柄決定手段とを含み、

前記遊技制御手段は、可変表示開始の条件の成立にもとづいて可変表示期間を特定可能な第 1 図柄の可変表示開始に関するコマンドを、情報を一方向にのみ伝達可能な不可逆性出力手段を介して前記可変表示制御手段に出力し、前記可変表示期間が終了したときに、確定を示すコマンドを前記可変表示制御手段に出力し、

前記可変表示制御手段は、

情報を一方向にのみ伝達可能な不可逆性入力手段を介して入力される前記遊技制御手段からの前記可変表示開始に関するコマンドにもとづいて特定される前記可変表示期間の間、前記第 1 図柄表示制御手段を用いて第 1 図柄を可変表示させるとともに前記第 2 図柄表示制御手段を用いて第 2 図柄を可変表示させ、前記第 1 図柄表示部の表示結果と前記第 2 図柄表示部の表示結果とが整合するように可変表示制御し、

前記遊技制御手段からの前記確定を示すコマンドが出力されたタイミングで、前記第 1 図柄表示部に第 1 図柄を停止表示させるとともに前記第 2 図柄表示部に前記停止図柄決定手段によって決定された第 2 図柄を停止表示させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

しかし、遊技制御手段が変動中の図柄の表示位置を決定するように構成した場合には、遊技制御手段の図柄表示に関する制御の負担が大きく、遊技制御手段において、他の遊技制御のために費やすことができる処理時間が制限されるという課題がある。そのような課題を解決するには、例えば、遊技制御手段が表示制御手段に図柄の速度変化時点（変動開始および変動停止を含む）送信し、表示制御手段が受信した速度に応じて図柄の表示位置を決定することが考えられる。しかし、そのような図柄変動制御によっても、1回の変動中に何回も遊技制御手段から表示制御手段にコマンドが送信されるので、やはり、遊技制御手段の図柄表示に関する制御の負担は大きい。なお、このことは、表示制御手段が上述した特別図柄のような第1図柄の表示制御を行う場合のみならず、表示制御手段が上述した装飾図柄のような第2図柄を表示制御するように構成されている場合にも、同様にいえることである。また、大当りが発生すると遊技者に極めて有利な状態になるので、不正に大当りを発生させる不正行為が行われる可能性がある。不正行為は、遊技機の表側からだけでなく、遊技機裏面に設置されている各種回路基板に不正改造を行うことによってなされる可能性もある。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0009】

そこで、本発明は、第1図柄および第2図柄を可変表示する図柄表示部を有する遊技機であって、表示演出を豊富にするとともに、表示演出を豊富にしても遊技制御手段から表示制御手段に出力されるコマンド数が増加することがなく、併せて、不正行為を効果的に防止して不正行為を受けにくくすることができる遊技機を提供することを目的とする。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0010】

本発明による遊技機は、第1図柄表示部に可変表示される第1図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、少なくとも第1図柄表示部と第2図柄を表示する第2図柄表示部とを有する可変表示装置と、可変表示装置の表示状態を制御する可変表示制御手段とを備え、可変表示制御手段が、第1図柄表示部に第1図柄を可変表示する制御を行う第1図柄表示制御手段と、第1図柄表示部に表示可能な表示内容よりも多い種類の表示内容を第2図柄表示部に表示可能な第2図柄表示制御手段と、第2図柄表示部に停止表示させる第2図柄を決定する停止図柄決定手段とを含み、遊技制御手段が、可変表示開始の条件の成立にもとづいて可変表示期間を特定可能な第1図柄の可変表示開始に関するコマンドを、情報を一方向にのみ伝達可能な不可逆性出力手段を介して可変表示制御手段に出力し、可変表示期間が終了したときに、確定を示すコマンドを可変表示制御手段に出力し、可変表示制御手段が、情報を一方向にのみ伝達可能な不可逆性入力手段を介して入力される遊技制御手段からの可変表示開始に関するコマンドにもとづいて特定される可変表示期間の間、第1図柄表示制御手段を用いて第1図柄を可変表示させるとともに第2図柄表示制御手段を用いて第2図柄を可変表示させ、第1図柄表示部の表示結果と第2図柄表示部の表示結果とが整合するように可変表示制御し、遊技制御手段からの確定を示すコマンドが出力されたタイミングで、第1図柄表示部に第1図柄を停止表示させるとともに第2図柄表示部に停止図柄決定手段によって決定された第2図柄を停止表示さ

せるように構成されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、遊技機を、遊技制御手段が、可変表示期間を特定可能な第1図柄の可変表示開始に関するコマンドを、情報を一方向にのみ伝達可能な不可逆性出力手段を介して可変表示制御手段に出力し、可変表示期間が終了したときに、確定を示すコマンドを可変表示制御手段に出力し、可変表示制御手段が、情報を一方向にのみ伝達可能な不可逆性入力手段を介して入力される可変表示開始に関するコマンドにもとづいて特定される可変表示期間の間、第1図柄表示制御手段を用いて第1図柄を可変表示させるとともに第2図柄表示制御手段を用いて第2図柄を可変表示させ、第1図柄表示部の表示結果と第2図柄表示部の表示結果とが整合するように可変表示制御し、遊技制御手段からの確定を示すコマンドが出力されたタイミングで、第1図柄表示部に第1図柄を停止表示させるとともに第2図柄表示部に停止図柄決定手段によって決定された第2図柄を停止表示させるように構成したので、表示演出を豊富にするとともに、表示演出を豊富にしても遊技制御手段から可変表示制御手段に出力されるコマンド数が増加することのない遊技機を提供できる効果がある。また、不正行為を効果的に防止して不正行為を受けにくくすることができる効果がある。